



# 消防だより

有田川町消防本部 052-59950  
吉備金屋消防署 052-59950  
清水消防署 025-1243

## 今年の出動等(累計)

火災……………2件  
救助急……………101件  
救助……………2件  
(平成26年1月31日現在)

## 春季全国火災予防運動

### 全国統一標語

「消すまでは

心の警報ONのまま」

(3月1日～3月7日)

この運動は、住民の皆様には、火災予防の意識を高めていただくことにより、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、火災から生命と貴重な財産を守ることを目的として毎年実施しています。また、山火事予防運動も併せて実施されます。

暦のうえでは春とはいえ、寒さが残る日が続く、暖房器具をなかなか片付けられないというご家庭も多いのではないのでしょうか。

この時期は空気が乾燥し、ちょっとした不注意で火災が発生する気候でもあります。ご家庭において、コンロや暖房器具まわりの整理や点検をするなど今一度、防火点検を実施してみたいかがでしょうか。



## 全国山火事予防運動

冬から春にかけて、山は枯葉や枯草が多くなることに加え、空気の乾燥や季節風などの気象条件から山火事発生の危険性が高くなります。山火事はいったん発生すると消火は困難で一瞬にして貴重な森林を焼失し、その回復には長い年月を要します。これから暖かくなるにつれ、山に入る機会も多くなりますが、タバコの火には充分注意し、特に空気が乾いている日や風の強い日は、たき火、火入れをしないなど火の取扱いは十分注意をお願いします。

有田川町の約76%は林野です。豊かな森林を火災から守りましょう。



## 熱性けいれん

熱性けいれんは、高熱を伴った子供(主に6ヶ月から5歳くらいまで)が突然、意識をなくしたり、手足をつっぱらせたり、ひきつけを起こします。通常38度以上の発熱があり、けいれんのあと高熱に気付くこともあります。

多くの場合、体温が急に高くなる時に起こりやすく、目は上方を向いて白目となり、体をつっぱらせたり、バタバタさせたりします。熱性けいれんは、脳炎や髄膜炎など明らかにけいれんの原因となる病気の無いものを言い、たいていは2～3分で治まり、発作が止まると睡眠に落ちてしまします。

はじめて見た時は、慌てますが、落ち着いて、次の事を実施してください。

- ① けいれんが何分間続いたのか、けいれんの様子はどうか、あとで詳しく伝えられるようによくみておきましょう。
- ② 衣服を緩め、できれば身体を横に寝かせさせます。(吐いた場合は、口の奥に押し込まないように注意しながら、指でかき出します。)
- ③ けいれんが治まったら、熱を計

りましょう。それから、慌てずかかりつけの病院で診察を受けましょう。

※口の中を見て、舌をかんでいなければ指や割り箸などを口に詰めないでください。

ほとんどの熱性けいれんは後遺症を残すことはありませんが、次のようなけいれんの時は、救急車を呼ぶなどして、急いで病院で受診しましょう。

- ① けいれんが10分以上続く。
- ② けいれんが治まっても、長い間意識が戻らない。
- ③ 短時間にけいれんを繰り返す。
- ④ 生後6ヶ月以下や6歳以上でけいれんを起こした場合。
- ⑤ けいれんの様子が左右非対称である。



あなたの命と財産を守るため 付いていますか? **住宅用火災警報器**  
「法律で全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられています。」

